

	治療日(治療前) 月 日	(治療終了後)	治療翌日	治療後2日目～退院 月 日
達成目標	・精神的・身体的に不安なく手術に望むことができる	・痛みのコントロールができる ・安静の保持ができる	・治療後、合併症なく経過できる	・退院後の生活の注意点が理解できる
処置	* 手術着に着替えていただき点滴はじめます * 治療の1時間前から抗生剤の点滴をします * 尿の管を入れます 	* 出血しないように創部の上におさえ(おもり)を置きます * 創部にあてているガーゼやテープ・おさは外さないで下さい	* 点滴をはずします * 尿の管を抜きます * 創部の消毒は状態に応じて行います	
検査	* 入院時に身長・体重を測ります * 血圧や脈・体温などを測ります * 1番目の方は午後1時頃から始まり、その後は前の方が終わり次第治療を始めますので、治療の開始時間を正確にお伝えすることができません	* 血圧や脈・体温などを測ります  * 心電図モニターをつけます * 創部からの出血や腫れがないか確認します	* 血圧や脈・体温を測ります  * レントゲン・心電図の検査があります	* 治療後7日目頃ペースメーカーの検査があります。ペースメーカーの上の肌を機械をあてて調べます * 検査の後に心電図モニターを外します
薬	* 血糖降下剤の内服やインスリン注射は量が変わることがあります * 現在内服している薬は他院のものも含めて持参してください	* 治療のために中止している薬がある場合は、治療後より内服再開となりますが、詳しくは当日説明します		* 退院時に薬が処方される場合があります 
食事	* 朝食はお召し上がりください * 朝食後は食べ物は摂らないでください * 水分は朝食後も摂られてもかまいません * 昼食については治療の開始時間によって異なりますので、入院後に説明します	* 食事は夕食から出ます * 水分は検査後よりお摂りいただけます  		
栄養管理	* 入院時に、医師・看護師・管理栄養士によって、栄養状態を評価し、必要に応じて入院栄養指導を行います。			
活動	* 治療までは点滴を持って歩けます * 治療の準備などがありますので、病室でお過ごし下さい * 治療室へは車椅子(またはベッド)で行きます 	* 治療室から病室へはベッドに戻ります * 翌朝まではベッド上での安静が必要です * 夕食時のみベッド(背もたれ)を起こして、座ることが出来ます * 治療側の腕は出来るだけ動かさないで下さい * 創部からの出血や腫れが生じた場合は、安静にさせていただく時間が長引くこともあります	* 病棟内は歩くことができます * 治療した側の手で重い物を持つたり、手を高く上げたりしないで下さい (創部の状態によっては、手の動きを制限するよなバンドをつけていただく場合があります) * 入浴できませんので、体を拭きます	* 3日目の午後からシャワー浴が可能です。創部を保護しますので看護師に声をかけてください。 * 退院後は入浴できますが、創部を強くこすらないように注意して下さい
リハビリ	治療翌日から心臓リハビリを行います。運動靴を準備してください。			理学療法士が訪問します。心臓リハビリの説明、運動機能の評価をします
その他	* 治療の順番が変わることもあります * 治療時は必ずご家族の方もご来院下さい * 治療同意書をお持ちの方は当日ご持参下さい * 初めて治療を受けられる方は、集中治療室(CCU)に入院していただきますが、経過が良ければ翌日には一般病室に移ります * 治療は地下1階の血管造影室で行います	* 治療の結果説明の時間については治療後にお伝えします * 治療後すぐに結果説明が行われる場合もありますのでご家族の方は血管造影室内の待合室でお待ちください	* 看護師より退院後の生活で注意していただきたい点についての説明を行います 	* 心臓病教室(毎週2回、火・木)の受講ができます。必要時説明をします。 * 退院は10時頃になります * 入院日も含め9日間の入院予定です 

* 症状によっては計画が変更になることがあります。不明な点がありましたらお尋ね下さい。